昭和34年1月1日　五城目町廣報　新年号（木曜日）

五城目町役場
印刷　五城目町　東印刷所
発行所　五城目町　秋田印刷

年頭のことば

五城目町長　加賀谷力司

明けまして
お目出度うございます。

私、町長就任後早や一年を迎えたわけであります。

思えば三一二度目の新春を迎えたわけであります。

昨年は、大越なる今日あるを同一条件の数々所のプロックの別のものに切替えるべく、長民全部が協加出来ようと、長民全部が協加出来ようと、長民全部が協加出来ようと

県政特報版
秋田県広報
県政特報版
発行所　秋田県
編集者　秋田県総務部総務課

―― 昨年12月から土地造成事業を開始した秋田臨海工業地帯 ――

県政四カ年の歩み

小畑知事が、県庁の機構改革、財政の再建、産業の柱建ての三つの公約をかかげて、知事に就任してから、四度目の正月をむかえ、任期もあますところあと四カ月になりましたが、この間、県政はどんな歩みをつづけてきたでしょうか。次にその四カ年の足跡をふりかえってみましょう。

全国一簡素な県庁機構

小畑知事が就任の時、県民の皆さんに公約した

① 県庁機構の改革
② 県財政の建直し
③ 産業振興の計画

の三つのうち、県庁の機構改革は、就任した年の三十年八月に完了し、本庁は二部六部二十七課の全国一簡素な機構に、また出先機関も能率的なスクラップ式に改めました。

人員の整理についても、思い切った退職金の増額によって希望者多つのり、八人に一人の割合で減員しましたが、これらのうち、転業希望者に対しては、ほとんどの人たちに仕事の斡旋をはかっています

31年度から黒字に
財政の再建計画は順調

財政　政府基財計画は、三十一年六月の県会で満場一致で可決され、いわゆる財政再建法によって国から十億八千万円の金を借り、赤字をタナ上げし、昭和四十年度までの十年度間で財政を建直すことになったのです。

三十二年度までの再建状況は頗る順調で、当初の計画よりも遥かに多くの赤字をかえしている（昭和三十三年度までの赤字償元金累積額一億七千六百万円）ほかに、三十一年度三千一百万円、三十二年度二億二千一百万円と巨額をかえしつつ、さらにこのほかに災害時に備え北海道基金（一億一千万円）高利公債のくりあげ償還（一億五百万円）などをつづけています。また心配されていた公債費は、三十三年度は財政再建の初年度である昭和三十一年度に繰べて一億円減額されています。

しかし、このような順調な歩みも

▼県民皆さんの増税、ならびに納税に対する協力（年間約一億三千万円）

▼再建債の利子補給や公共事業による補助金の増額（年間約二億円）

▼県庁の機構改革や消費的経費の節約（年間約一億三千万円）

▼またその後の折衝によって実現した国からの地方交付税の増加

などによって実現したもので、今後は、再建のため努力ねがった県民総力の増加をできるだけ早い機会にもとに復し、また折角

県民所得の向上25%
総合振興三カ年間計画　三年間に76%進む

産　産業振興の主軸として、三十一年からはじめられた総合振興五カ年計画は、苦しい財政下にあって最も効果的な県民所得の向上をはかるために立てられたものです。かかげられたスローガンとは、三段階、酪農振興、県産品開発用、木工振興、漁業振興、県産品販売、生活運動などいろいろありますが、つまるところその加賀の焦点は

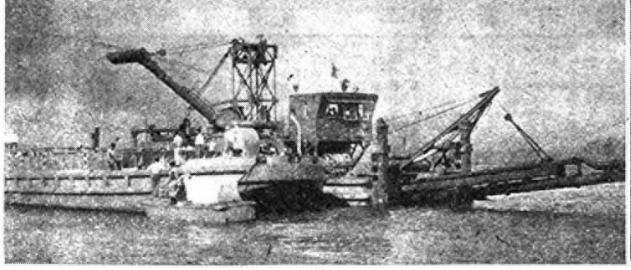
▼農業の多角化

▼資源の開発利用

▼新らしい生活態度の確立

の三面に要約されています。

実施以来、過去三カ年間の実績は、三十三年度現在、米作中心、畜産、園芸、養蚕、酪農、農産加工、林業、水産、観光、農業基盤整備、農村生活改善、農村文化、農村工業、農村住宅、農村道路、農村電化、農村医療、農村教育、農村社会福祉、農村金融、農村行政、農村組織、農村青年、農村婦人、農村子供、農村老人、農村文化財、農村自然、農村風景、農村観光、農村交通、農村通信、農村情報、農村電話、農村放送、農村電波、農村電力、農村電灯、農村電熱、農村電動、農村電子、農村電子計算機、農村電子工業、農村電子部品、農村電子機械、農村電子器具、農村電子材料、農村電子工具、農村電子測定器、農村電子試験器、農村電子検査器、農村電子分析器、農村電子顕微鏡、農村電子望遠鏡、農村電子顕微鏡、農村電子望遠鏡、農村電子顕微鏡、農村電子望遠鏡



―八郎潟干拓に活躍中のサンドポンプ船とその放水作業―

八郎潟の干拓進む

今春からは一部作付も予定

今後は工事の早期完成と新らしい村づくり計画の作成が最も大切な問題となってきました。

生橋、鹿角線の建設はじまる

県選出代議士はじめ、地元、その他の熱心な努力によって、三十二年四月採択をみ、昨年から建設予算がついて工事を進めてきましたが、生橋線は在来内一長信間二十四キロ、鹿角線は鹿角一角館間六十五キロ、完成すれば秋田一磯岡を三時間で結ぶことができる県道出代議士はじめ、地元、その他の熱心な努力によって、三十二年四月採択をみ、昨年から建設予算がついて工事を進めてきましたが、生橋線は在来内一長信間二十四キロ、鹿角線は鹿角一角館間六十五キロ、完成すれば秋田一磯岡を三時間で結ぶことができるものですが、それについても旅館業者等が出資して観光開発公社をつくり、十和田、八幡平国立公園をはじめ各県立公園の施設整備その他の事業を行うことになっています。

工　場誘致は三十一年、秋米が能代市に工場誘致を行い、昨年上工場が操業を行っており、帝石と住友が提携して秋田市におのしと天然ガスの化学工場も三十三年の春から操業を開始しています。

四万キロの電源保有も間近か

電　力開発は三十二年の秋鎌畑ダムの完成によって県管鎌畑発電所が竣工し、昨年の春にはまた田沢発電所が完成しています。

ついで昨年から同じ水系に全国でも稀な施設で四キロにおよぶ小和瀬発電所が竣工されており、さらに今秋はその下流の小沢発電と胃潟ダムの発電が竣工されていますので、これ等を合わせ、県内の電力は約二倍の電源を有し、県内の産業の開発に貢献できることも、水害の防止にも大きな役割を果すことができます。

砂利道補修と幹線舗装に努力

道　路の改良は、まず第一段階として、既設道路の改修に重点を置き、高能率の砂利採取機を導入して従来の三倍程度の砂利を入れ、相当大きな効果をあげましたが、さらに大型車輌、高速車輌の急速な増加にともなって交通上の支障が多くなってきたので、一昨年からは幹線の舗装化にもとくに力を入れ、公共事業の大幅な増大をはかるとともに、年間約一億円に近い県費単独の舗装改良ならびに側溝改良事業を行っています。

橋梁の整備は年々大小あわせて七十橋程度が永久橋化されてきており、その中には昭和最大といわれる鹿代橋をはじめ、百米以上の長大橋が八橋も完成しています。

あと一息の新市町村建設

さ　てどうにか続合関五月末頃までに七〇村の市町村が建設計画の調整を完了、また実施中で、のこる三〇村のうち今年中には全部計画調整を終える見込になっています。

新農山村建設も順調

こ　れとあわせて新農山漁村建設による助成事業も強化され、三十一年からの三年間に、すでに県内六三村の地域がこの事業をとり入れ、草地改良、食糧増産、有線放送、有線共同施設、有線放送や設備が農山村につくられています。

全国はじめてのたすけあい資金

こ　うした生産面の仕事の反面、ふだんの暮のなからない人たちの援助にも力をいれ、とくに全国ではじめてといわれる「たすけあい資金」は法令の適用を無視して、内職のあっせんや情報の提供などのほか、内職者の育成、技術の伝習等にのりだしています。

ま　た内職を希望する人を対象に昨年十一月から本県ではじめての内職相談所（農業安定課内）を開設し、内職のあっせんや情報の提供などのほか、内職者の育成、技術の伝習等にのりだしています。

実現された国保の全県実施

特　筆されることは昨秋「国保」の全県実施が実現したことです。三十一年から三カ所計画で進められたこの事業が三十六度からの全国一斉保険体制とも歩けする全国六番目に達成したことは、市町村関係者と県民のこの制度の完全実施によって県民全体の医療費年間約六億六十七百万円（一世帯当り約三千円）節減されるものと推定されています。

青少年に明るい希望

今後は職場開拓に努力

こ　のように県政は、過去三年有余の間に、機構改革から財政再建、産業の再建とこつの基礎を確立し、県民の福祉の向上を必ずして奇々その歩幅を行い、また市町村とも、県選出代議士、県会議員各位の絶大協力、援助また県民諸さんの有形無形の支援の賜であります。

今後はこれを足場とし、さらにこれまでのやるべき施策の推進をはかることになります が、とくに今年は学集から脱らして集立つ若い青少年のための農業開拓者、農村の二、三用地選に二億余既を行い、また市営住宅とも、科学的な助成をとり入れて、さらに一段とこれを強化していきたいというのが県の方向です。

東北開発軌道にのる

秋田臨海工業地帯工場用地の造成にも着手

東　北開発は三十一年末、五〇、工業業一七七ヘクタールの造成が完了、また、東北各県が力をあわせて推進した甲線をあって、三十二年月末、東北開発の三法が制定されました。さらに昨年八月には国の東北開発十カ年計画がまとまったので、本県でもこれに即応して三十三年から四十二年までの十カ年計画をたて、これによって計画的かつ効果的な事業の推進を期しています。

この計画の生産目標は、三十一年に対して、農林水産業一億、工業業一七七億円、商業一億、運輸業等の交通網の整備、八郎潟干拓の早期完成、産物、米代河川川の改修など、本県の産業基盤をつくるあらゆる事業がもられています。

このような計画を全国に先駆して昨年は本県の公共事業は八割以上を、その中でも秋田新産業都市の建設に重点をおいてきました。

また昨年春からの東北開発会社の直営事業として、秋田湖岡地帯に三十二万坪の土地造成が進められ、これに県内で実施中の土地造成を加えると三十五年までには三十二万坪の大工場用地が造成されることになります。二万総貨事業も過去三年間に十二億六千万円に達し、「東北開発」による意思は着々実を結んでこようとします。

国体誘致の準備も進む

こ　のほか過去四カ年の主なできごととしては、多年の念願であった秋田湖の国立公園の指定、道路等の交通網の整備、八郎潟干拓の早期完成、産物、米代河川川の改修など、本県の産業基盤をつくるあらゆる事業がもられています。

このような計画を全国に先駆して昨年は本県の公共事業は八割以上を、その中でも秋田新産業都市の建設に重点をおいてきました。

また昨年春からの東北開発会社の直営事業として、秋田湖岡地帯に三十二万坪の土地造成が進められ、これに県内で実施中の土地造成を加えると三十五年までには三十二万坪の大工場用地が造成されることになります。二万総貨事業も過去三年間に十二億六千万円に達し、「東北開発」による意思は着々実を結んでこようとします。

国体誘致の準備も進む

こ　のほか過去四カ年の主なできごととしては、多年の念願であった秋田湖の国立公園の指定、道路等の交通網の整備、八郎潟干拓の早期完成、産物、米代河川川の改修など、本県の産業基盤をつくるあらゆる事業がもられています。

このような計画を全国に先駆して昨年は本県の公共事業は八割以上を、その中でも秋田新産業都市の建設に重点をおいてきました。

また昨年春からの東北開発会社の直営事業として、秋田湖岡地帯に三十二万坪の土地造成が進められ、これに県内で実施中の土地造成を加えると三十五年までには三十二万坪の大工場用地が造成されることになります。二万総貨事業も過去三年間に十二億六千万円に達し、「東北開発」による意思は着々実を結んでこようとします。

今年末に完成する新県庁舎

最　も熱念なことは三十二年八月、県庁から出火してその大半を焼失したことですが、さいわい幸らい県庁の建設が県会満場一致できまり、また二万坪の土地を秋田市から無償提供、七千八百坪の敷地を建設中です。工事は昨年春着手し、今年の十二月までに完成の予定です。

青年、婦人活動の育成はかる

社　会教育については教育委員会と協力して、青年団活動の強化、婦人団体の育成はかるとともに、青少年講習会を開催して、青少年の育成をはかるとともに、婦人教育の充実、フィールドライブラリーの活動に力を入れ、その教育効果を高めるとともに、青少年の活動を家庭、学校、職場、地域における各種の活動と学習の連点をおくようにした結果、地域における各種の市町村建設に大きな役割を果しています。

教　育関係では、昨年はすべて学校の新設のため、小学校一学級六〇人を五八人に、中学校五人の学級編成と編制し、中学校と学級制の教員定数も職員予定を三十三年度繰上げ、へき地教育の特別、高校生産教育の特殊、職業教育の充実、の相当大きな実績をあげています。

警　察関係については青少年の保護育成のため少年補導課の設置、駐在所、警察官住宅の建設などに、県としてもできるだけの努力をしてきました。

お　互の生活を助ける意味から、三年からはじめられた新生活運動は、今日では県内のすべての町村に何らかの形でとりあげられています。

運動の進め方は視察、グループや部落懇談から徐々に多くのしたしみを、三年からはじめられた新生活運動は、今日では県内のすべての町村に何らかの形でとりあげられています。

運動の進め方は視察、グループや部落懇談から徐々に多くのしたしみを、県内七二市町村のうち四八市町村（六七村）に新生活運動協議会が結成されています。

県でも推進母体である青年部協議会に協力して、これら市町村への医療講習会やモデル地区（現在三〇市町村）の設定をはかり、若さいの県民生活改善に向上を強化しています。

浸とうした新生活運動

工事が進められている生橋線のトンネル

コンクリート打込中の県庁舎建設工事

年頭にあたつて

中央公民館長　木村喜太郎

謹年御安出度う御座います。

内外多難でした成歳も終り昨年は国民の大子の御婚約も発表になり、何となく朗かな希望の持てる明けゆく日本と云つた様な気のする新年であります。

我町の郷土六城目町も間じく明るく温厚和もして調和すべき努力せねばならぬ温の恵に浴もします。

私ごとき非才が斯かる重大な使命を持つ公民館の職務を担当して四年目に入ります。

特にこの間に当り大分の御鞭撻と御援助を切に御願申あげると共に皆々様の長き御教示と御指導を謹祈念します。

歩毎上の礎となりこれが町民も明るい住み良い郷土社会の建設となることではないでしょうか。これが為には学校教育と相並んで共に人間教育の両翼であり不離一体なものである社会教育こそ非常に大切なものと思います。特に社会教育のセンターとも申すべき公民館は住民の学為に実際生活に即する教育学術文化に関する事柄を取扱い、もつと住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図つて生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与せねばならぬのであります。

私ごとき非才は一生懸命に尽力致す覚悟でありますが、皆さん如何努力しようとも又あがいても駄目であるとの諦めの心と理解と御協力に待ちれば人間教育の目的は出来ないのであります。

ここに年頭に当り大分の御鞭撻と御援助を切に御願申あげると共に皆々様の長き御教示と御指導を謹祈念して御挨拶と致します。

門松・しめ縄の由来

門松といえば松に限るようですが、最近まで信州の一部ではカキを又鶴の日の夜は祖先の霊が郷土を巡幸されるといいので対馬の家家が尊重をたてた門松を飾るのです。

常緑樹であれば差支えないわけで、山のかなたかなたの、お正月に帰つてくるもの前からの習慣であつたそのの足がかりになるようなものであるようです。わざわざかさまにする理由は神様が目をお突きにならないようにとの配慮からのようです。

「迫き門松」で、えびすさんで有名な西宮では九月の夜は祖先の霊が郷土を巡幸されるといいので対馬の家家が尊重をたてた門松をかさまにする奇習があります。この奇習はすでに足利学世記の永正十七年正月十日の条に見えますから、もう四百年もの前からの習慣であつたそのの足がかりになるようなものであるようです。わざわざかさまにする理由は神様が目をお突きにならないよう

シメ縄も神の占有されるもの、ものでもちろん正月が過ぎれば我々祖先の霊も帰りにこの神々の滞在期間が「松の内」で、この期間は江戸年中行事では六月日と出ているようです。

これについて面白いのは門松・シメ縄の起源は別として、この正月を迎えるにあたり、楽しく清らかに迎えたいものです。

五中　内藤英雄

門松・しめ縄の由来

暫年御安出度う御座います。

内外多難でした成歳も終り昨年は国民の大子の御婚約も発表になり、何となく朗かな希望の持てる明けゆく日本と云つた様な気のする新年であります。

我町の郷土六城目町も間じく明るく温厚和もして調和すべき努力せねばならぬ温の恵に浴もします。

私ごとき非才が斯かる重大な使命を持つ公民館の職務を担当して四年目に入ります。

特に社会教育のセンターとも申すべき公民館は住民の学為に実際生活に即する教育学術文化に関する事柄を取扱い、もつと住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図つて生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与せねばならぬのであります。

私ごとき非才が斯かる重大使命を持つ公民館の職務を担当して四年目に入ります。

特に社会教育の特色は、学校教育と相並んで共に人間教育の両翼であり不離一体なものである